

# 視察研修報告書

1 委員会名
産業建設常任委員会
2 実施名称（テーマ）
(1) 秩父地域森林林業活性化協議会について (2) 森林資源の活用について
3 実施期日
令和5年10月12日（木）
4 実施場所
(1) 秩父市役所 農政部 森づくり課
5 実施目的
(1) 秩父地域森林林業活性化協議会の運営について (2) 森林環境譲与税活用の取り組みについて
6 参加者の氏名
委員長 関美香 副委員長 原沢香司 委員 安原賢一 福田弘明 唐沢清治
7 その他

## 視察研修等委員別報告書

1 作成者氏名
関 美香
2 視察研修の実施名称（テーマ）
<ul style="list-style-type: none"><li>・秩父地域森林林業活性化協議会について</li><li>・森林資源の活用について</li></ul>
3 実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）
<ul style="list-style-type: none"><li>・「ちちぶ定住自立圏構想の取り組みの中に森林の保全・活用を目的とした「秩父地域森林林業活性化協議会」が平成 24 年に設立され、健全な森林の育成と循環型社会の構築、地域経済の発展を目指した取り組みを推進している」</li><li>・秩父地域森林林業活性化協議会の取り組みの中で、秩父の森・林業の情報サイト「森の活人」を運営し、秩父地域の森林・林業情報を集約、発信を行っている。 中之条町においても森林・林業情報の発信の検討が必要であると感じた。その中で 9 月 30 日に開業した林業力向上の拠点施設「中之条町木材活用センター」を中心とした情報発信が有効ではないかと考える。</li><li>・令和 3 年から自伐型林業者等の支援、令和 4 年からは自伐型林業を地域全体で推進。フォーラムや初心者向け体験研修等を行っている。「中之条町木材活用センター」における達成手段の中に林業産業に携わる人々の確保のため、林業実践学校の整備を目指すとあるが、この中に環境保全に優れた自伐型林業を学べる体制を整えるべきではないかと考える。近隣ではみなかみ町において自伐型林業を取り入れているので視察させて頂き、自伐型林業について学びたいと思った。</li><li>・秩父市では生涯木育を掲げ、平成 27 年から実施しているウッドスタート事業に加え、令和 3 年度の小学生新入児童へ木の引き出しの配布を行った。中之条町でも「N プロダクト」の創設において、ウッドスタートからウッドエンドまでの生涯木育事業を展開すべきと考える。</li></ul>
4 その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）
<ul style="list-style-type: none"><li>・林業力向上の拠点施設である「中之条町木材活用センター」の充実が図られるよう調査研究が必要であると考えます。</li></ul>

## 視察研修等委員別報告書

1 作成者氏名
原沢 香司
2 視察研修の実施名称（テーマ）
広域連携による林業活性化の実施実態と森林環境譲与税などの利用方法を秩父地域に学ぶ
3 実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）
<p>秩父地域は総務省事業「定住自立圏構想」の取り組みの一環として広域連携が進められていることを知った。1.3億円事業費で特別交付税措置を受け、H21に提携を結ぶことでスタート、H24から林業事業を開始したとのことで、協議会に負担金を払う仕組みとのことだった。国・県・市町が一堂に会する組織は珍しい実態であるとのこと。吾妻地域に同構想がそのまま有用性を持つかどうかは疑問であるが、広域連携の考え方や実践の参考にはなると感じた。同構想についても、研究を進めていく必要が有ると感じた。</p> <p>事業内容については、一般会計事業と森林環境譲与税を財源とする事業をしっかりと区別して実施していることが印象的であった。木の駅プロジェクトは中之条町で行っている事業でもあり、今後の進展も含めて経緯を中止していく必要があると感じた。</p> <p>また秩父地域は自伐型林業の普及を目的に機材のレンタルを行っていることも参考になると感じた。自伐型林業については、みなかみ町を参考にしているとのことであったので、同町の取り組みも大いに参考にしたい。</p> <p>地域おこし協力隊を積極的に活用し、林業を生業とした定住にも結びつけているとのことであった。林業の継続的な営みには担い手の確保が必要であるため、仕組みを参考にしたい。</p>
4 その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）
<p>中之条町木材活用センターは始まったばかりの取り組みであり、今後も先進地の事例を学び有効性のある活用を図っていくことが欠かせないと感じた。</p> <p>今回の秩父地域の例では、広域連携の進め方のヒントを得たように思う。「定住自立圏構想」を当地域にそのまま当てはめることはできないが、吾妻森林組合など町村を超えて活動している組織もすでにあるため、連携しながら今後の広域連携事業を考えていくことが欠かせないと思う。</p> <p>また町民に木材活用の重要性を知ってもらうことが欠かせない。秩父で行っているウッドスタート（木育として赤ちゃんに木のおもちゃを贈る。小学校1年生に木の引き出しを贈る）などは、中之条町でも取り入れるべきだと感じた。</p> <p>また地域おこし協力隊はじめ、今後の担い手を確保していくために若い人たちの事業参加をどのように行っていくかもしっかりと考えて行かないといけない。</p> <p>今後も様々な角度から、センター業務や広域連携について調査研究をしていくことが必要だと感じた。</p>

## 視察研修等委員別報告書

1 作成者氏名
安原 賢一
2 視察研修の実施名称（テーマ）
・ 秩父地域森林林業活性化協議会の取り組み
3 実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）
・ 秩父地域も中之条町と同じく森林面積が多い。 ・ 森林整備への活用が基本。ただし既存の取組、自伐型林業、木育、木材利用等にも活用。 ・ 中之条町の林業事業は秩父市と比べて、木材の利用については先を行っている気がしました。 ・ 中之条町のように、利用の目的と、町で製材所、チップに加工する等の考えはないようでした。 ・ 今後も中之条町の山林の有効活用を考え、よりよい町の特産となるよう頑張りたい。
4 その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）

## 視察研修等委員別報告書

1 作成者氏名
福田 弘明
2 視察研修の実施名称（テーマ）
・秩父地域森林林業活性化協議会の運営について ・森林資源の活用について
3 実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）
○秩父地域森林林業活性化協議会の運営について 1. この協議会と同じ運営自治体で構成されていて、木材市場としての木材センター、広葉樹を利用したのマイタケセンターなどとても実績のある秩父広域森林組合と零細な規模のいわば自伐型林業であるこの協議会との棲み分けがどの様になっているのか伺いたかったが、質問の仕方が悪かったのか回答がなかったのが残念。 2. 森林環境譲与税をもとに自伐型林業者への支援がおこなわれているということなので、小型林業機械のリース・レンタル費用への補助が行われているので自伐型林業者で需要が多いミニショベルの林業仕様機が利用されているのか伺ったが、そもそも林業用仕様（オペレータを保護する保護ガード、集材用ウインチ、切り株から下部を守るアンダーガードと最低地上高などの装備）についての認識が無いようで一般の土木向けリース機械と同じに認識しているようなので以後の質問はここまでとしました。 ○森林資源の活用について 広葉樹についてはどのような活用が図られているのかうかがったが、広葉樹については、まだ利用が進んでいないようでした。 《所感》 1. 森林環境譲与税を利用して自伐型林業者への支援がおこなわれていることはとても良いことであると思われる。 2. 中之条町では、木材活用センターが竣工したことにより今までの小規模林業者向けであった木の駅プロジェクトの内容が大きく変わった。今までのチェーンソーと軽トラックで対応できた2 m材を復活するか、4 m材に向けての非常に高価な林業用機械への補助を創設するのか判断を迫られると認識した。 3. 広葉樹の活用についても、樹種の4割を占めているので検討していく必要があると強く思われる。
4 その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）

## 視察研修等委員別報告書

1 作成者氏名
唐沢 清治
2 視察研修の実施名称（テーマ）
<ul style="list-style-type: none"><li>・秩父地域森林林業活性化協議会の運営について</li><li>・森林資源の活用について</li></ul>
3 実施結果に対する所感、意見等（質疑・意見交換した内容、今後の町政に生かすべき点等）
<ul style="list-style-type: none"><li>・秩父地域森林林業活性化協議会は、林野庁関東森林管理局埼玉森林管理事務所、埼玉県、秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、秩父広域森林組合、秩父木材協同組合、秩父地域地場産業振興センターで構成されており、その運営は秩父市が中心で、事務局は秩父市森づくり課が行い、集約化分科会、自伐型林業推進事業、譲与税補助事業を行っている。予算は、一般会計（定住予算）と特別会計（森林環境譲与税）を充てている。運営体制はできていると思う。当地域は秩父市が他の4町村をまとめているから上手くいっていると思われる。私たち地域においては、吾妻広域ということになると思うが、なかなか難しいと思われる。</li><li>・森林資源の活用については、新事業の創設等を行うものに各補助金を交付。木の駅プロジェクト、啓発事業、上下流域の連携に向けた取り組み、森林経営管理制度の取り組み、森林環境譲与税補助事業、自伐型林業推進事業などを行う中でそれぞれの事業が推進され、令和7年の第75回全国植樹祭に結びついているものと思われる。</li></ul>
4 その他（今後の課題・調査研究すべきテーマ）
<ul style="list-style-type: none"><li>・中之条町では木材活用センターでの総合的な事業の推進を図っていけばいいと思うが、間伐そしてその利用について考える必要があると思う。</li><li>・企業と連携しての事業ができないものか。</li></ul>